

株式会社 FRONTEO 第 23 回定時株主総会 質疑応答内容

※本質疑応答は、当社が本総会で行った事業に関わるご説明を、ご出席いただいた株主様以外にも広く開示する目的で掲載するものです。内容につきましては、ご理解いただきやすいよう、部分的に加筆・修正しております。

【日本マイクロソフト社との協業について】

（質問 1）

2020 年 10 月に日本マイクロソフト株式会社（以下「MS 社」）との協業が発表され、翌年には 2 件の成果も公表されています。しかし、その後現在に至るまで続報がないため、現在の状況およびこれまでの成果についてご説明ください。

（回答 1（議長））

当社は、主にリーガルテック AI 分野およびビジネスインテリジェンス分野において、MS 社との協業を進めてまいりました。しかしながら、現時点において新たに公表できる成果はございません。現在は、これらの事業に関する当社の戦略変更に伴い、MS 社との協業の具体的な取り組みは進んでおりません。

【AI 創薬の展望について】

（質問 2）

AI 創薬支援サービス“Drug Discovery AI Factory”（以下、「DDAIF」）について、2026 年 3 月期においては順調に推移しており、当社の中核となっていると認識していますが、2027 年 3 月期における展望についてお伺いします。

（回答 2（議長））

2026 年 3 月期においては 22 件のプロジェクトを獲得いたしました。2027 年 3 月期においては、社内 KPI である 25 件を上回り、前期実績を大きく上回る件数の獲得を見込んでおります。

【トークラボ KIBIT の導入拡大方針について】

（質問 3）

昨年、トークラボ KIBIT の提供が開始され、現在、日本生命保険相互会社、朝日生命保険相互会社に導入されていますが、免許センター等の官公庁や他業種への導入予定についてお伺いします。

（回答 3（議長））

個別の導入計画について具体的に申し上げることはできませんが、本サービスは拡大・発展の可能性が非常に高いと認識しており、他業種への展開に向けて営業活動を積極的に進めています。今後、公表可能な段階となりましたら、適時適切に開示してまいります。

【2027 年 3 月期の連結業績について】

（質問 4）

2027 年 3 月期の連結業績について、売上高は前年比で横ばいである一方、大幅な減益予想となっている要因についてご説明ください。

（回答 4（議長））

2027 年 3 月期においては、AI 創薬分野に注力してまいります。具体的には、先行投資として人材をはじめとする経営資源を同分野に集中投下する戦略としております。こうした戦略転換の背景には、導出（ライセンスアウト）を目指すパイプラインが複数進行していることがあり、当社として大きな意義があると認識しております。

2027 年 3 月期においては、AI 創薬を単発の共創プロジェクトによるアップフロント型収益モデルから、パイプライン導出による一時金、マイルストーン、ロイヤルティ等を軸としたアップサイド型収益モデルへと転換を推進することで、非連続的成長を実現するものと考えています。また、当該年度中に 1 件以上の導出が実現することを目指しており、これにより、今後の本格的な収益化が見込まれております。

一般的に創薬には 20 年以上を要すると言われておりますが、当社は創薬プロセスの各工程においてバイオロジー領域から支援をしております。特に、製薬会社へ導出する直前の段階にあるバイオベンチャー支援に注力しており、数年での導出が可能であることから、短期的な成長も十分に見込めると考えております。

さらに、北米のナスダックに上場している AI 創薬企業においては、大規模なデータセンターやウェットラボを保有し、年間数百万ドル規模の投資負担（バーンアウト）を伴っている一方で、保有パイプライン数は当社と大きく変わらないケースも見受けられます。この点からも、当社の AI 創薬分野は非常に収益性の高い事業であると言えます。

【AI 創薬の経済効果について】

（質問 5）

会社説明会資料において、2027 年 3 月期から 2031 年 3 月期までの間に経済効果が最大 1 兆円と示されていますが、その根拠および効果の範囲についてご説明ください。

（回答 5（議長））

当該数値は、日本の創薬スタートアップ会社が今後成長した際にもたらされる経済効果を前提として試算したものです。国内には創薬スタートアップ会社が 50 社から 100 社存在しており、それぞれの導出における平均的な契約金額を基に算出しております。

なお、当社は全ての導出案件を支援するものではないため、当社が享受する経済効果は当該試算の一部となります。

【ステージ 4 達成の目標時期について】

（質問 6）

中期経営計画（ステージ 4）の達成目標時期が明示されなくなっていますが、現状の見通しについてご説明ください。

（回答 6（議長））

本年 6 月末に開示予定の「事業計画及び成長可能性に関する事項」においてご説明いたしますが、現時点において、ステージ 4 の達成時期（2029 年 3 月期）に変更はございません。AI 創薬分野への集中投資を進め、導出可能性の高いパイプラインの拡充によるライセンスアウトやその後の進捗に応じたマイルストーン・ロイヤルティ等のアップサイド型収益を積み上げ、ポートフォリオの多角化を推進することで、ステージ 4 の目標達成を目指してまいります。

【ステージ 4 未達の場合の経営責任について】

（質問 7）

ステージ 4 達成の時期がこれまで 3 回にわたり延期されていることについて、株主に対して不誠実であると考えています。今回、達成できなかった場合の経営責任についてどのように考えているかお聞かせください。

（回答 7（議長））

ステージ 4 達成に向けた事業の進捗状況および結果については、経営陣が責任を負っております。そのため、経営責任については、今後の進捗および最終的な結果を踏まえ、適切に判断してまいりたいと考えております。

引き続き、目標達成に向けて事業を着実に推進してまいります。

以上